

トマトにおける施肥と灌水について

◎5段開花時期は最大のN吸収量

◎生長点下15cm前後の茎径や花の位置で濃度調整

◎日/10a当たり施肥量（5段開花時期）

①205mg/株×1500茎（本）=308g/N

②（例）N10%液肥の場合には約3.1kg施肥

③株当たり総N量は約20~25g/株

◎土壌分析の基準（15日に1回測定）

①PF 2.0~2.2（水分）

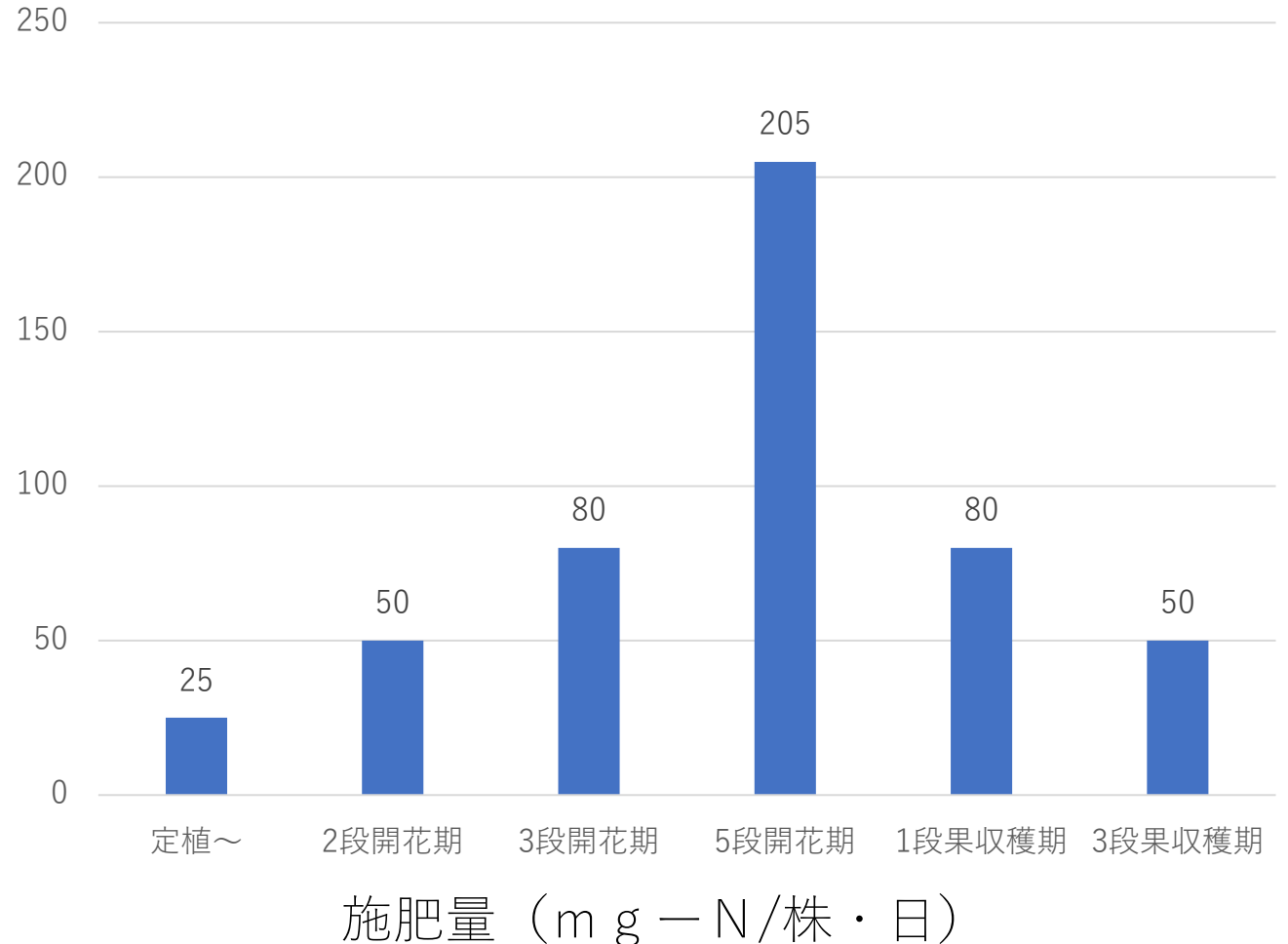
②EC 1.0~1.5ds/m（肥料）

◎灌水量

①高温期の灌水量は、株当たり2~3ℓ/日

②トータルの灌水量は、350~380ℓ

≪品種作型土壌条件により数値は異なります≫



障害果対策（尻腐れ果・裂果）

尻腐れ果の要因

- ・ 果実や根域のCaの減少と根張りの衰え
- ・ アンモニア態N過剰でのCaの抑制
（過繁茂や強樹勢で蒸散流で葉に移動）
- ・ 肥料の拮抗作用
（K・Mg・S・・・）

尻腐れ果の対策

- ・ Caの灌水施肥と葉面散布（果房にかかる）
「カル元気・有機カルトップ」の施肥
- ・ 多灌水（少量多回数灌水）
- ・ ANの少ない肥料の施肥
- ・ 草勢のコントロール「シリカ水」の施肥
- ・ Caは再転流しにくく少量ずつ供給

裂果の種類と要因

- ・ 同心円状裂果（横割れ）
> 急激な水分移動
- ・ 放射状裂果（縦割れ）
> ホウ素欠乏による果実基部のコルク化

裂果の対策

- ・ ホウ素肥料の施肥
「アミクエ・カリっと」の施肥

《ホウ素の特徴・効果》

- ・ 根から吸収され必須元素
- ・ 細胞壁の強度を保つ
- ・ 花粉の量を増して受精を良くする